

英語科学習指導案

日 時：

学 校 名：

展開学級：

授 業 者：

1 単元名 PROGRAM 3 Taste of Culture (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元の目標

- (1) 学校・日常生活に関する語句や動名詞および不定詞の意味や働きを理解する。

〔知識〕【知識及び技能】

- (2) これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につける。

〔技能〕【知識及び技能】

- (3) これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

- (4) これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとする。 【学びに向かう力、人間力等】

3 単元について

本単元では、学習指導要領外国語第2英語の目標(3)話すこと〔やり取り〕イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に重点を置いて指導を行う。本単元では、放課後に、中学生がクラスメイトにこれからしたいことや行動の目的について話し合ったりする場面を題材としている。本単元で扱う言語材料は、〈to+動詞の原形〉(不定詞)および〈動詞の-ing形〉(動名詞)であり、日時や条件を示しながら「～すること」「～するために…」 「～するための…」などの表現を学習する。

また、不定詞の名詞用法では、6年生のLesson3「Where do you want to go?」、Lesson5「I want to see the Milky Way.」で、want to ～を学習している。本課では、小学校での学びを生かし、want to go を使って、将来行ってみたいところについて述べる活動により導入することで、本研究会の外国語教育研究テーマである「小中の接続、学びの『つながり』を意識した授業改善」につなげたい。

「Taste of Culture」と題される本題材は、“want to eat ～” “enjoy eating outside” “use toothpicks to eat it” など海外の食文化を学びながら、〈to+動詞の原形〉(不定詞)および〈動詞の-ing形〉(動名詞)を扱うことができ、これからしたいことや行動の目的を話題にする場面を設定することに適している。

また、本研究会の外国語教育研究のもうひとつのテーマである「主体的・対話的で深い学びを実現するための指導と評価の工夫」に関しては、ペアワークを主体としながら、クラスの友達と、自分のことにつ

いてやり取りをする場面を数多く設定する。単にやりとりをさせるのではなく、事前に相手の答えを予想させ、確かめるためにやりとりをさせたり、自分の答えと同じ答えをする友達を探すためにやりとりをさせたりするなど、やり取りをする必然性を設けることにより、活動に意味を持たせたい。それにより、主体的に学習に取り組むことができることになり、研究の方向にあっているものと考ええる。

学校研究主題と英語科研究主題との関わり

本校の研究主題は「主体的に学習に取り組む態度の育成～SDGs とユニバーサルデザインの視点に立った指導の工夫～」であり、英語科の研究主題は「主体的に学習に取り組む態度の育成～ルーブリックの活用と SDGs とユニバーサルデザインの視点に立った指導」と定めた。

主体的に学習に取り組む態度を育成するためには、身近な話題で生徒が「話したい」「伝えたい」と感じることが大切であると考ええる。本時の活動 1 では、小学校での学びを基にして、友達の「食べたいもの」「飲みたいもの」等を予想させてから、答えを得るためにやりとりさせることで、やり取りをする必然性と意味を持たせることで主体的に活動できるだろう。本校 Can do リストの「話すこと・やりとり」の「自分や自分の身近な人の経験やの将来のことなどについて、質問したり答えたりすることができる」に該当する。

また、活動 2 では、“I want to ～.” “I don't want to ～.” の文型を用いて、生徒自身のしたいこと、したくないことを書かせたのちに、ベトナム戦争時に書かれた「ある少女の詩」を読む。戦時下に書かれた詩から、当時少女がしたかったことやしなかったことを読みとり、自分たちの書いた望みと比べることで、現在、平和な国で安心して学校生活が送れることが「当たり前」ではないことに気づかせたい。また、現在の社会情勢にも目を向けさせ、地球上には学校に行くことや、安心して生きることさえ保証されていない子供たちが存在することにも気づかせたい。これは、SDGs で設定されている 17 の目標の「4. 質の高い教育をみんなに」と「16 平和と公正をすべての人に」に関連すると考える。現在、地球上にある戦火について考えるきっかけとして指導したいと考える。単元の最後には Interact で「将来の夢」について扱う。ここでの活動は、本校 can do リストの「書くこと」「基礎的な表現を用いて、日記や自分がしたいこと、将来の夢などについて書くことができる」に該当する。本時の活動 2 を通して、「自分がしたいこと」と社会情勢を絡めて考えさせておくことで、Interact の活動につながるだろうと考える。

また、ユニバーサルデザインの視点に基づき、本時の流れを掲示することで視覚的に理解させ、見通しをもって学習に取り組む手助けとしたい。さらに、活動時には大型タイマーを使用し、活動に使える時間と、残り時間を明確にすることで、主体的に時間を使えるようになると考える。

4 生徒の実態

割愛

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔知識〕 ・学校・日常生活に関する語句や、不定詞（名詞的用法／副詞的用法／形容詞的用法）および動名詞の意味や働きを理解している。 〔技能〕 ・これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、不定詞（名詞的用法／副詞的用法／形容詞的用法）および動名詞などの語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。	・相手に伝わるように、これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	・これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

6 指導と評価の計画（1 / 10）

	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 本時	○自分のしたいことが言えるようになる。 (Scenes 1)	〈知識〉 to 不定詞（名詞的用法）などの意味や働きを理解している。 〈技能〉 to 不定詞（名詞的用法）などの意味や働きの理解をもとに、したいことなどについて、聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。	
2	○動作について言えるようになる。 (Scenes 2)	〈知識〉 動名詞などの意味や働きを理解している。 〈技能〉 動名詞などの意味や働きの理解をもとに、楽しんでい		

		とについて、聞き取ったり書いたりする技能を身につけている。			
3	○行動の目的を言えるようになる。 ○何をするためのものか言えるようになる。 (Scenes 3)	〈知識〉to 不定詞（副詞的用法）などの意味や働きを理解している。 〈技能〉to 不定詞（副詞的用法）などの意味や働きの理解をもとに、あるもののクイズについて、聞き取ったり伝え合ったりする技能を身につけている。		記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。	
4	○食べたいものについての対話文を読んで内容を理解する。 (Think 1)	・登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチの概要や要点を捉えている。			
5	○屋台についての対話文を読んで内容を理解する。 (Think 2)				
6	○屋台についての真央の発表を読んで内容を理解する。 (Think 3)				
7 ・ 8	○Think 全体の音読を行い、内容を確認する。 ○本文の内容が伝えられるようにメモを作る。 ○本文の内容を伝え合う。 ○自分が話した表現を書く。 (retell)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に把握し、指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		・登場人物が学んだことをほかの人に伝えるために、世界の屋台料理に関する会話・スピーチについて、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。	・これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

9 ・ 10	○将来なりたいものは何か、理由やその職業でしたいことなど、じぶんの考えをまとめる。 (interact)		・相手に伝わるように、これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	・これからしたいことや行動の目的について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
--------------	---	--	---	---

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ want(s) to + 動詞の原形を用いた文の構造を理解している。 [知識] 【知識及び技能】
- ・ ベトナム戦争時の少女の詩を読んで、want to ～, don't want to ～の文を使って、自分のしたいこと、したくないことを書く。 [技能] 【知識及び技能】

(2) 本時の展開

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 1分	○挨拶をする。 挨拶に加え、体調、天気、曜日を確認する。	・ 明るく挨拶をし、授業の雰囲気を作る。
帯活動 5分	○帯活動 音読トルネード 1年生の教科書の音読練習・早読みをする。	

導入 10 分	①行きたいところ、したいことについて話を する。 T: Look at the map. (特産物 日本地図学習プリント) . I want to go to Osaka because I want to eat delicious okonomiyaki. How about you? Where do you want to go? S1: I want to go to ○○ T : Why? S1 : Because I want to ……. (to eat ~) (to see ~) (to enjoy ~) T⇔S2 (同様に行く) T⇔S3 ○本時の目標を提示する。	・ want to go から、want to + 「go 以外の動 詞」に広げていく。 ・ 何回かやりとりを繰り返す。 ・ 本時の目標を明示して、生徒と共有する。
展開① 15 分	①友達がしたいことを、尋ねあう。 ワークシート①を見て、友達が食べたい もの、飲みたいもの等を予想して尋ねあ う。 ・ What do you want to eat for breakfast? ・ What do you want to be in the future? 結果を発表する。 ○○ wants<u>to</u> eat △△. □□ wants<u>to</u> be ◇◇. : :	・ スムーズに行うように指示する。 ・ 戸惑っている生徒に対しては、ペア同士助け合 うよう助言する。 ・ 「プラス 1 文」で回答できるよう促す。 ・ 発表者に対し、耳を傾けて、しっかり聞くよう 助言する。 ◎to+動詞の原形を用いた文の構造を理解して いる〔知識〕【知識及び技能】(後日ペーパーテ スト)

自分のしたいこと(したくないこと)が言えるようになろう。

展開② 16 分	②「ある少年・少女の詩」を使って、英作文の練習をする。 ベトナム戦争に関する短い動画を見た後、ワークシート③を見ながら教師の範読を聞く。 ・感想を発表する。 ・もう一度、自分の作文を試みる。	・ワークシート②を使って、“I want to ()” “I don’t want to ()” を自由に書く ・ワークシート③ I want to live. I don’t want to die. I want to laugh. I don’t want to cry. I want to love. I want to study. I want to run. I want to speak. I don’t want to die. I want to live. (訳してみよう) (感想) ・わからない単語があれば、ギガタブで調べる。 ・発表者に対し、耳を傾けて、しっかり聞くよう助言する。 ・ベトナム戦争時の少女の詩を読んで、want to ～, don’t want to ～の文を使って、自分のしたいこと、したくないことを書くことができる。 〔技能〕【知識及び技能】
まとめ 3 分	○本日のポイントの再確認と振り返り 自己評価カードに記入する。	・落ち着いて振り返りが出来るような雰囲気を作る。

(3) 本時の評価

- ・ want(s) to+動詞の原形を用いた文の構造を理解することができる。 〔知識〕【知識及び技能】
- ・ ベトナム戦争時の少女の詩を読んで、want to ～, don’t want to ～の文を使って、自分のしたいこと、したくないことを書くことができる。 〔技能〕【知識及び技能】